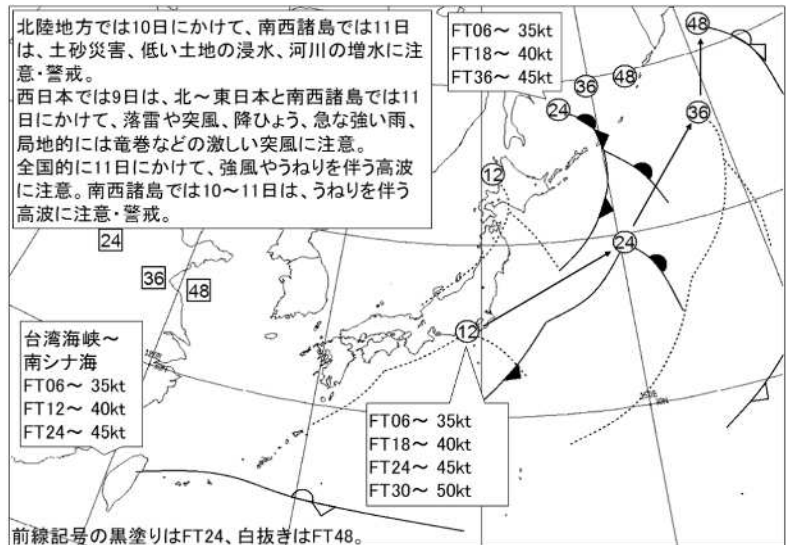


短期予報解説資料 2025年11月9日15時40分発表

気象庁

1. 実況上の着目点

- ① 前線を伴った低気圧が西日本を東進。また、東日本太平洋側は気圧の谷となっている。日本の南～関東の東では強い雨や激しい雨を解析。
- ② 前線を伴った低気圧が日本海中部を東北東進。日本海ではやや強い雨や強い雨を解析。
- ③ 大型で非常に強い台風第26号がフィリピンの東を西進。一方、高気圧が日本のはるか東を東南東へ移動。日本の南では吹送距離の長い東よりのやや強い風や強い風が吹いており、波がうねりを伴って高くなり、しけている所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は、9日夜にかけて東日本太平洋側に進み、10～11日は発達しながら日本の東を通って千島の東に進む。低気圧や前線の影響で、強い風が吹き波がうねりを伴って高くなりしける所がある。また、前線や低気圧に向かう下層暖湿気の影響で大気の状態が非常に不安定となる所がある。西日本では9日は、東日本では10日にかけて、強風や高波、落雷、突風、降ひょう、急な強い雨、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ② 1項②の低気圧は、10日にかけてオホーツク海に進み、寒冷前線が北～東日本を通過する。500hPaでは、10日は5220m付近で-33℃以下の寒気を伴う寒冷渦が沿海州からオホーツク海に進み、11日は5340m付近で-33℃の寒気を伴うトラフが北日本を通過する。本州付近では10日は、北～東日本では10～11日は、西高東低の気圧配置となる。低気圧や前線に向かう下層暖湿気及び上空寒気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり雷を伴って強い雨が降り大雨となる所がある。北陸地方では10日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。北～東日本では11日にかけて、落雷や突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。また、強い風が吹き、波が高くなりしける所がある。西日本では10日は、北～東日本では11日にかけて、強風や高波に注意。北日本では10～11日は、降雪や積雪による交通障害、着雪にも注意。
- ③ 1項③の台風は、10日は南シナ海に進む。11日は、台風が南シナ海を北上し、前線が東シナ海～日本の南で顕在化する。台風周辺や前線に向かう下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となり、雷を伴い激しい雨が降り大雨となる所がある。また、強い風が吹き波がうねりを伴って高くなりしける所がある。南西諸島では、10～11日は高波に、11日は土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意警戒。11日にかけて強風、落雷、突風に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(18時から24時間)：多い所(100mm以上)はない。

② 波浪(明日まで)：沖縄5、その他広い範囲で3～4m。

③ 高潮(明日まで)：大潮の時期。北～西日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「雷と突風及び降ひょうに関する全般気象情報」を17時頃発表予定。